

第4回デジタル教科書の今後の在り方等に関する検討会議

デジタル教科書使用における 健康面への影響について

令和2年9月23日

公益社団法人 日本医師会

常任理事 渡辺弘司

デジタル教科書に使用するデバイスについて

- デバイスの機種・スペックについて
→ 選定は紙の教科書同様、市町村教育委員会にゆだねられているのか？
- 児童生徒のデバイス使用について
→ 使用する場所・ネット使用環境により、健康上の影響に関する懸念の度合いが異なる。

デジタル教科書の使用による児童生徒等の健康への影響に関する意見

- これまでに定められたガイドライン、ガイドブックに沿った健康面への対応を引き続きお願いしたい。
- デジタル教科書を学校の授業以外で使用する事に対して懸念がある。
- デジタル教科書の導入したがために起こりうる健康上のリスクへのフォローをお願いしたい。
→ ネットやスマホの使用による健康への影響が懸念されている

ネットやスマホ使用による児童生徒等の健康への影響に関する啓発(日本医師会・日本小児科医会作成ポスター)

睡眠時間

夜使うと睡眠不足になり、体内時計が狂います(昼と夜の区別ができなくなります)。



体力

体を動かさないと、骨も筋肉も育ちません。

学力

スマホを使うほど、学力が下がります。



視力

視力が落ちます(外遊びが目の働きを育てます)。



脳機能

脳にもダメージが!!



コミュニケーション能力

人と直接話す時間が減ります。



スマホの時間

わたしは何を失うか



長時間使うと、記憶や判断を司る部分の脳の発達に遅れが出ます。

公益社団法人 日本医師会

公益社団法人 日本小児科医会

愛着形成



愛の顔と声と手は、赤ちゃんにとって最高のおもちゃです。

外遊び



五感や体力を育てるうえに、毎日が新しい発見や体験の連続です。

生活リズム

子どもは遊びの天才です。



集団遊び

ことばや運動能力、社会性(ルールを守る)、相手を思いやる心などが育ちます。



お手伝い

子どものやりたがる気持ちを大切に、親子のかかわりで生活能力、自立心が養えます。



遊びは子どもの主食です

～スマホを置いて ふれあい遊びを～

どこで遊ばせる？ どう遊ぶ？

子どもの遊び場を確保するのは地域の大人の責任です！





公園、子育て広場、児童館、図書館、プレーパーク(冒険遊び場)、園庭開放などを利用しましょう！

公益社団法人 日本医師会

公益社団法人 日本小児科医会

まとめ その①

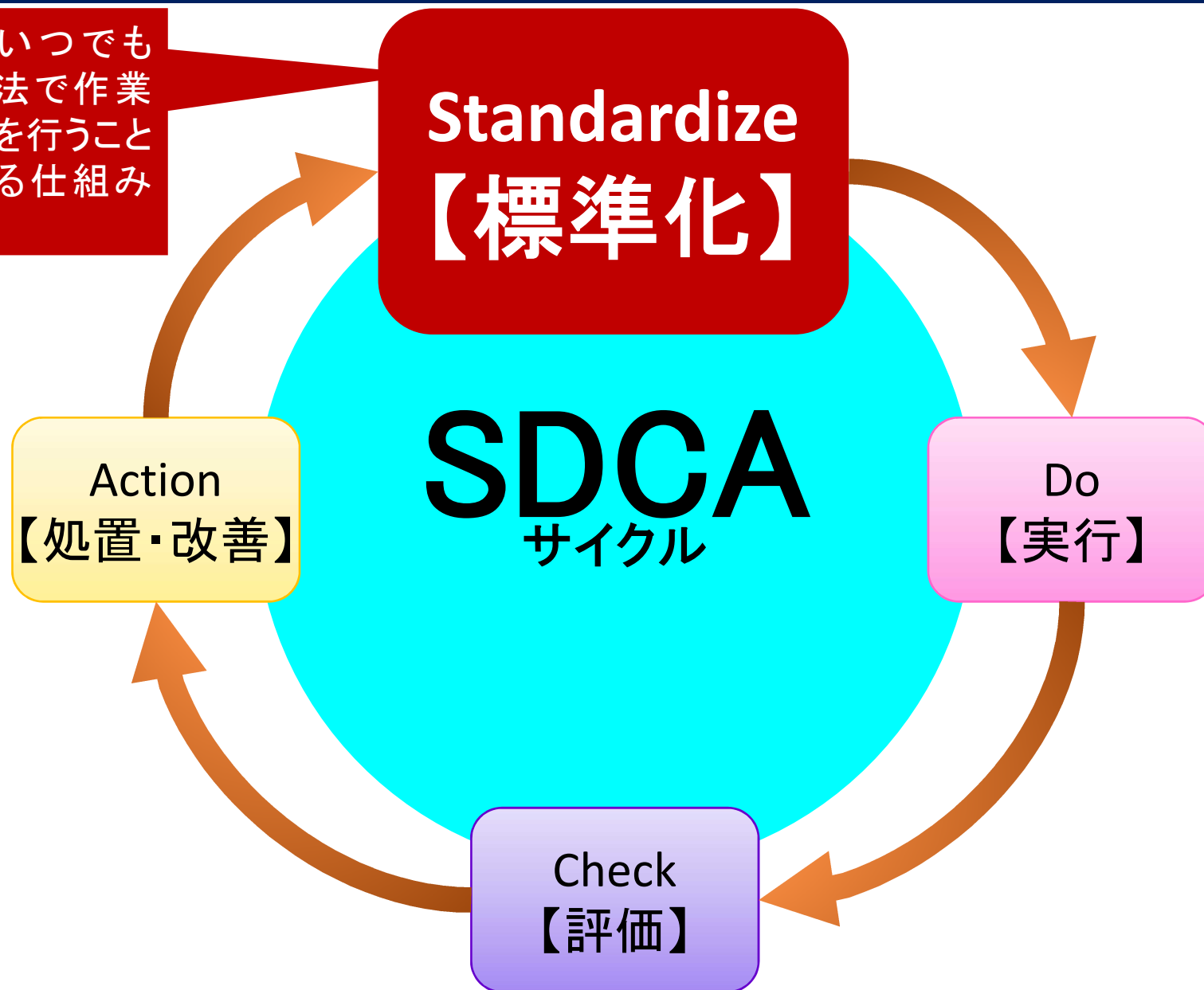
- デジタル教科書の本格導入する際、デバイスを教科書以外の使用可能とした場合の懸念
 - ・スマホやネット依存で懸念される健康への影響と同様
 - ・児童生徒一人ひとりの家庭環境は異なる
- ICT活用についてメディアリテラシー教育が必要
 - ・子供たちへ直接の教育と、保護者への教育が重要
 - ・肥満改善の健康教育を子供たちにすることが保護者達の実生活習慣の改善にもなるという事と同じ考え方

まとめ その②

- スマホの長時間使用が学力を低下させ、長時間のインターネット利用が子供たちの脳発達を阻害するという科学的エビデンスをどう考えるのか。
- 教育における過度のICTの活用が、子ども達にどのような影響があるのかについて、科学的エビデンスをもとに議論しないまま進めるのは問題ではないか。
- 以上を真剣に議論すべきである。拙速に方針を決めるべきでないを考える。

デジタル教科書導入に向けて

誰でもいつでも
同じ方法で作業
や業務を行うこと
ができる仕組み
を作る



ご清聴ありがとうございました。

